



せな魅力フルパワー!!

ワッブ!!ワッブ



揺るがぬ岩の心持で ~瀬波小卒業式~



緊張の面持ちで入場します

3月24日(月)、瀬波小学校(藤城真二校長)では晴れ渡る青空の下、卒業式を執り行いました。この日、6年生43人の卒業生たちは、保護者や来賓・教職員の温かい見守りの中、希望と大志を胸に新たな一歩を踏み出す瞬間を迎えました。

卒業生は在校生など大勢が見守る中、緊張の面持ちで入場してきました。

教頭先生の開式の言葉のあと、国歌斉唱・校歌斉唱・学事報告があり、いよいよ卒業証書の授与が始まります。

卒業生一人ひとりが名前を呼ばれ、壇上上がる瞬間が訪れます。彼らの顔には緊張と期待が入り混じる中、卒業証書が手渡されると、彼らは誇らしげな表情を浮かべました。その瞬間、彼らの未来への希望が一層輝きを増したように感じられました。

その後の校長先生からの式辞では、「これからの人生は楽しいことばかりではありません。つらい時もある。心の元気がなくなりそうなときに『ありのままの自分を好きになる』という言葉を思い出してほしい。自分のことを好きになって自分のことを大切にしていってほしい。」と力強い言葉を贈りました。卒業生たちは、その言葉に耳を傾け、未来への期待感を抱きなが



明るい未来に胸高鳴ります



校長先生から卒業証書が手渡されます

ら、次のステージへと心を躍らせていきました。

式典の最後には、卒業生による合唱が行われました。「この地球のどこかで」の歌声が響く中、卒業生たちは仲間たちと一緒に歌い上げました。その歌声は、彼らの絆を象徴するものであり、未来への希望を込めた力強いメッセージとなりました。

卒業式を終えた後、卒業生たちは友達や先生、家族とともに記念撮影を行い、笑顔で未来への決意を新たに、新たな挑戦への期待感が高まります。地域の皆様にも、この素晴らしい瞬間を共有し、彼らの成長を見守っていただけ



ればと思います。
 瀬波小学校の卒業生たちは、この日を胸に刻み、新しい世界へと羽ばたいていきます。彼らの未来には無限の可能性が広がっており、その一歩一歩が地域社会にとっても大きな希望となることでしょう。これからも彼らの活躍を見守り、応援していきたいと思えます。
 卒業生の皆さん、本当におめでとうございませす！



卒業生はそれぞれの進路に進みます



地 域 の 話 題



白川治郎平先生

3月19日(水)、瀬波小学校(藤城真二校長)では毎年行われている「白川訓導慰霊祭」を行いました。
 むかし、三面川の河口近くは橋が無く、下渡や羽下ヶ淵、滝の前、上海府方面への行き来は渡し船に頼っていました。当然児童の登下校も渡し船に乗らなければなりませんでした。
 大正9年(1920年)3月23日の朝、羽下ヶ淵集落に宿泊し児童に勉強を教えていた白川治郎平先生と児童は、雪解けで増水し流れの速い川を眺めてためらっていました。卒業式を目前にした子どもたちにせがまれ、低学年の児童を帰宅させ3年生以上の児童

白川訓導慰霊祭を執り行いました

慰霊祭当日は、あいにくの雨となり、小学校の玄関脇にある「殉職白川訓導碑」の前で、横山正良さん(羽下ヶ淵区長)と羽下ヶ淵から通学している4人の児童、それに運営委員の6年生の2人の児童が整理した後、校長先生から白

十数人と舟に乗りました。激しく渦巻く川を横切り対岸を目前にして舟は、増水で隠れていた杭に乗り上げ転覆してしまいました。流されながらも懸命に児童を助けようとしていた先生はついに力尽き、児童2人とともに濁流にのまれてしまいました。慰霊祭は殉職した白川先生の勇気ある行動と一緒に亡くなった2人の児童の慰霊のために毎年行われているものです。



慰霊碑に花束を手向けました

川訓導の碑が建てられたいきさつと「命の大切さ」を考える機会にしてください」とあいさつがありました。
 児童代表の5年生 細野幸志郎さんから「今は三面川を自転車や自動車などで楽に通れますが、今みたいに橋がなかった時は大変だったと思います。私たちの命は1つしかありません。たくさんの人に支えられて生きています。白川先生、細野さん、高橋さんと申いの言葉がありました。」
 その後、横山区長と運営委員で委員長を務めている6年生の川崎凜太郎さんと副委員長の中山翠さんが花束を手向けた後、全員で黙とうし、最後に横山区長のあいさつで終了しました。
 ちなみに当初「殉職白川訓導碑」は遭難現場に近い三面川河畔に建立されていました。昭和16年に三面川の洪水で堤防が壊れて碑が傾いたため、現在の位置に移設されました。
 今後も白川先生はあの世から瀬波小学校の児童をやさしく見守っていくことでしょう。

瀬波ことばの想い(おらだりのしゃべかだ)

(連載編)

近年の世代交代・核家族化により、方言もほとんど聞かれなくなりました。

今後、瀬波言葉を伝えていくのも我々の使命と考え、少しずつではありますが、瀬波言葉を掲載することにしました。 ※数ある言葉の中で、日頃多く使われている言葉を掲載します。

せなみ言葉	標準語	おらだりのしゃべかだ用例
やきもきで	気をもむ	かあちゃん仕事間に合かねで「 やきもきで 」!
やぐやぐ	わざわざ	こんだおんぼでつけもん石「 やぐやぐ 」持ってきてもろだ!
やっきで	ムキになって	隣のおんちや「 やっきで 」嫁ごさがすてだぞ!
やっけ	面倒	何だでは「 やっけ 」かげで、おおぎにはや!
やっつけて	負かして	よその子どもに殴らってきたすけ「 やっつけて 」きた!
やーす	やくざ	こねだ「 やーす 」にだまがさって、パンツのゴム紐こわさった!
やめで	痛くて	きんな、ハズ(蜂)に刺さったば「 やめで、やめで 」せづねでは!
やわっこで	柔らかくて	んめごのもず(餅)「 やわっこで 」んんめの一!
やらね	あげない	おら、よぐだすけ誰にもおがす(お菓子)な「 やらね 」!
やんた	嫌だ	あっつけだうず(家)に、おらごの娘ごど嫁にやらん「 やんた 」!

*あいうえお順で掲載

※不適切な言葉(表現)が含まれていますが、本来の瀬波言葉の内容です

買い物支援事業

瀬波まちづくり協議会では、車が運転できなくて買い物に行けない人のために、タクシーで自宅まで送り迎えしてスーパーで買い物をするための支援事業を行っています。

予約はかんたん お電話1本!! 53-2005

次回の運行は・・・

イオン村上東店

4月22日(火)

予約期限: 4月18日(金)まで

5月13日(火)

予約期限: 5月9日(金)まで

原信村上西店

4月24日(木)

予約期限: 4月22日(火)まで

5月8日(木)

予約期限: 5月2日(金)まで

【↑↑予約期限日注意】

※買い物時間は午前10時から1時間程度です。

※利用する場合は、負担金として300円ご負担いただきます。

※ご自宅からイオン村上東店もしくは原信村上西店までの送迎です。

それ以外の立ち寄りにはできません。

利用対象者

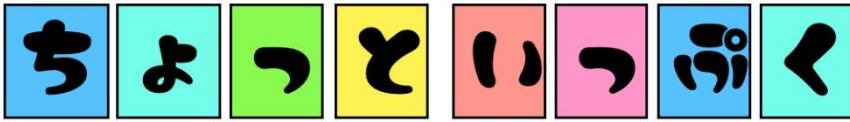
①～③すべてを満たす



- ①瀬波地区在住
- ②70歳以上
- ③自力で買い物が可能な方

※介助を必要とする方はご利用いただけません。





おもっしゅクイズだよ～!!

左右の絵には 10 カ所のまちがいがあります。わかるかな？



出典：MY介護の広場

3月15日号のクイズの解答です。

1	キ	2	ド	ウ	3	ヤ
			ノ		4	ク
5	コ	ウ	6	コ	ク	
	ツ			モ		7
8	カ	イ	リ	ユ		ウ

情報をお寄せいただいた方には、
ささやかな粗品を進呈いたします

みなさまからの情報提供をお待ちしています。たとえば…

- ①「自分の家」のワンちゃん・ネコちゃん
「ご近所」のワンちゃん・ネコちゃん
を紹介してください
- ②ご近所にある お店・事業所を紹介してください
- ③町内・子ども会・老人会などで開催した
行事を紹介してください
- ④ご自身が所属している趣味・サークルを
紹介してください

瀬波まちづくり協議会に関する情報については、ホームページ・まち協公式X(旧ツイッター)・公式 Facebook でQRコードからご覧になることができます。

ホームページ



公式X(旧ツイッター)



公式 Facebook



協議会事務局：村上市瀬波上町4番1号
(瀬波地域コミュニティセンター内)
担当：平方(市民課自治振興室 瀬波地域担当)
【TEL】53-2005 【FAX】53-5557
【メール】info@senami-machikyo.net